

II 調查結果

1 回答者の属性

今回の調査から明らかになったことの中で、特徴的なものは以下のとおりである。

〔結果（概要）〕

- ◇回答者は、男女比が約5割で女性が若干多い割合である。

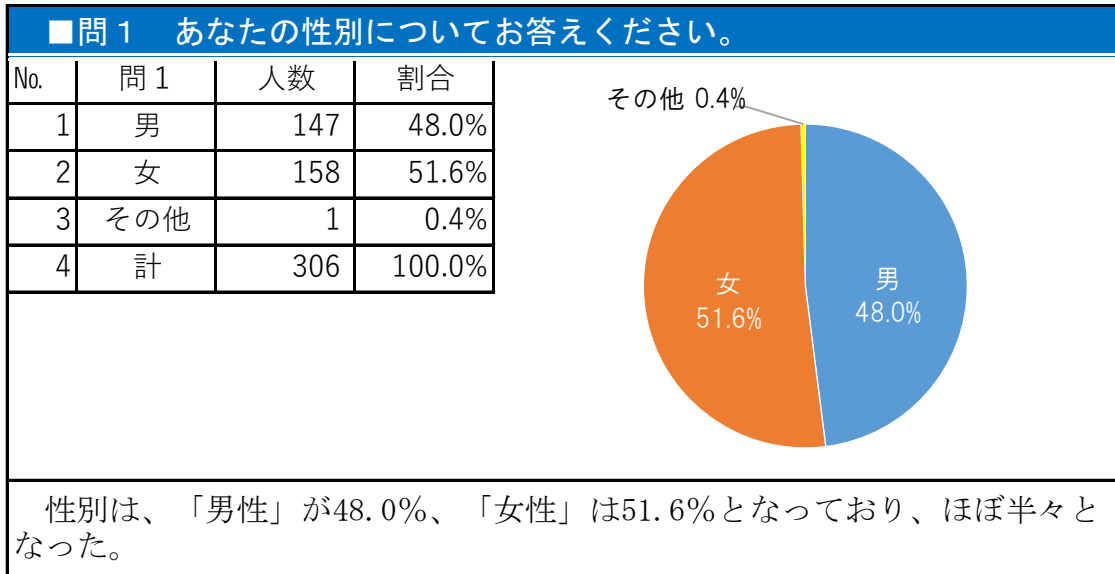
- ◇年齢別で見ると、最も少ないのは10代（4.9%）で、最も多いのは70代（18.3%）であった。
ただし、10代は（18歳・19歳）のみであり、対象となる人数そのものが少ない。その他の年代からはあまり偏りなく回答があった。

- ◇地域ごとの人口割合を考慮したうえでの無作為抽出を行っているが、今回の調査では、「深浦地区」の回答が50.7%と、半数が「深浦地区」からのものとなった。

- ◇職業は「民間企業の会社員」、「農業、林業、漁業従事者」、「公務員、教員、団体職員」など幅広い回答を得られた。

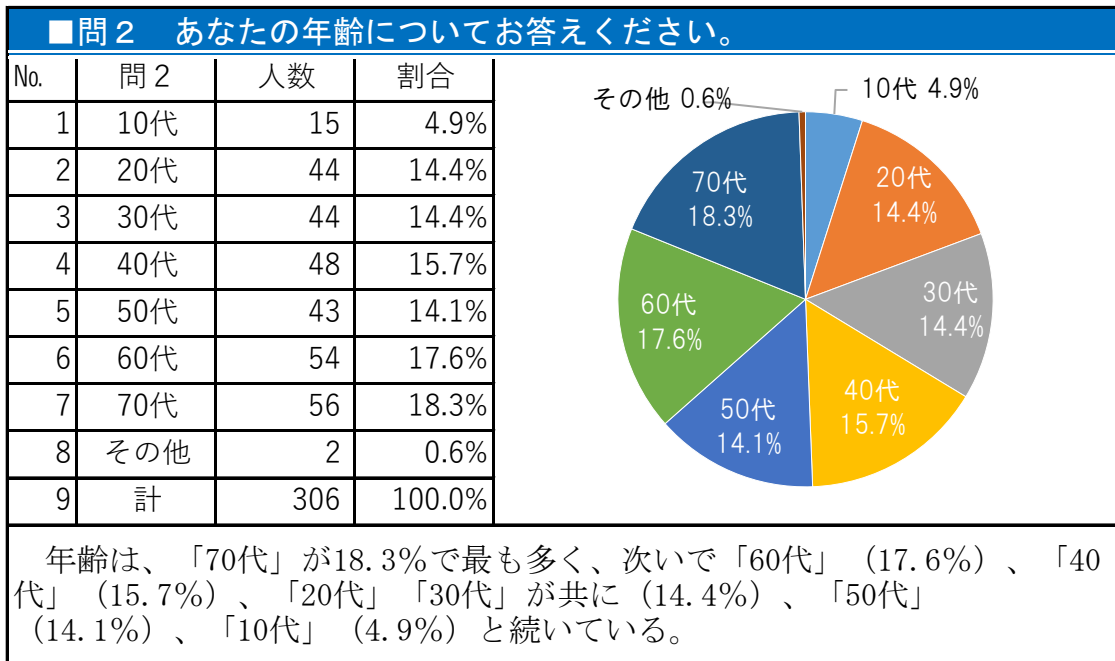
(1) 性別

◇ 「男性」が48.0%、「女性」は51.6%



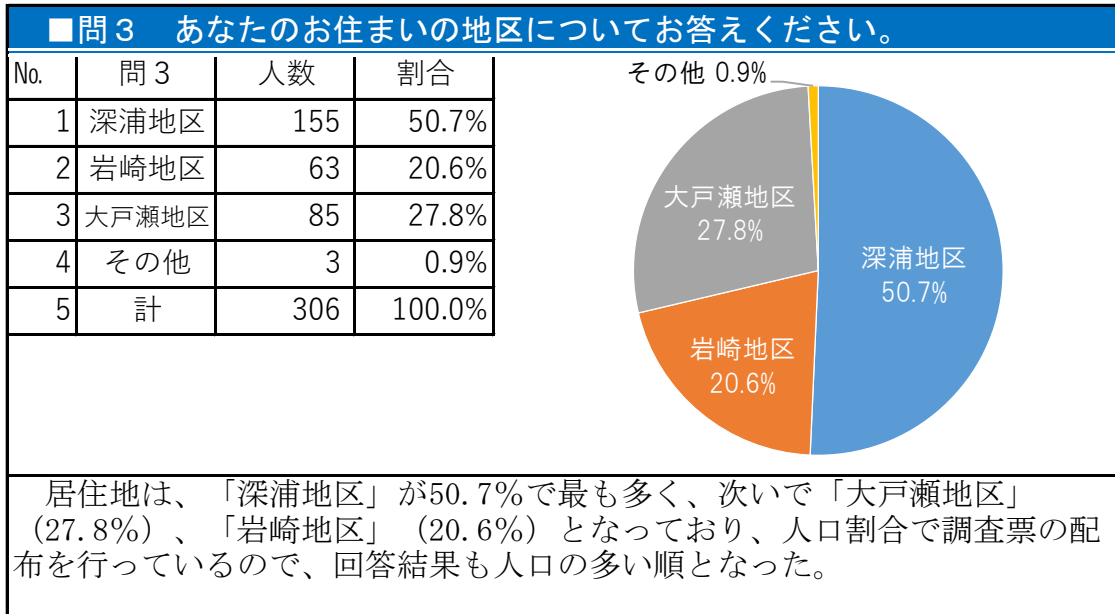
(2) 年齢

◇ 「70代」が18.3%、「60代」が(17.6%)



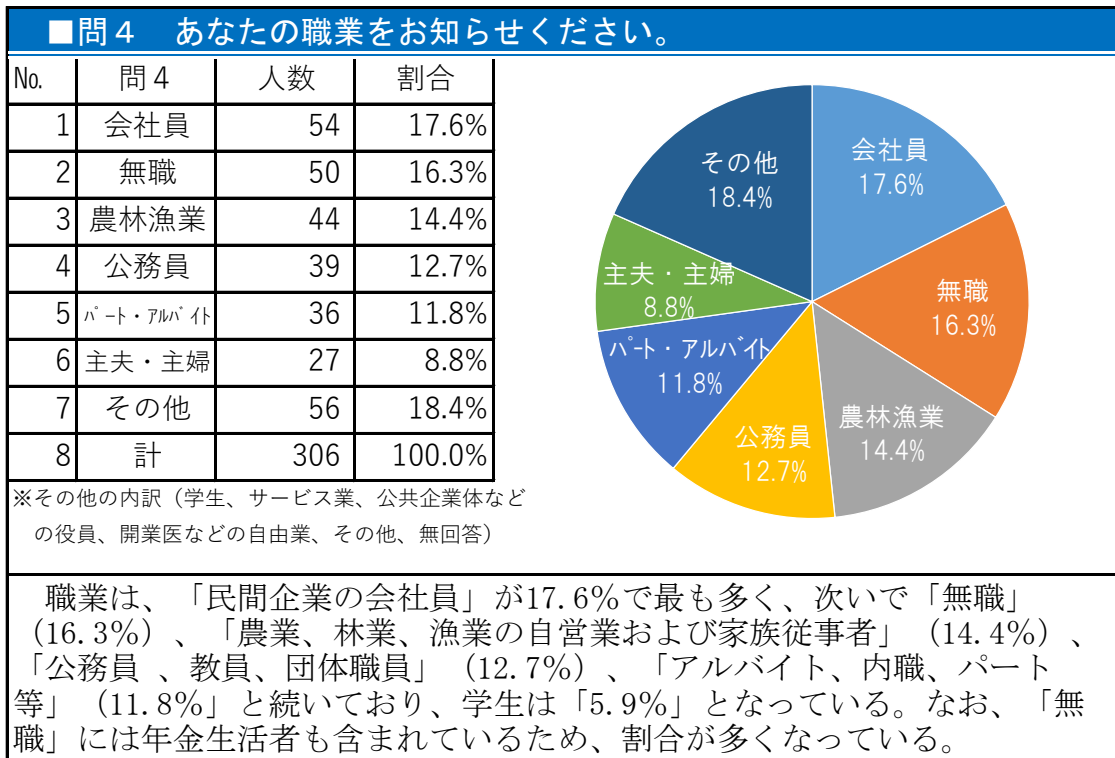
(3) 居住地

◇「深浦」50.7%、「大戸瀬」27.8%、「岩崎」20.6%



(4) 職業

◇「民間企業の会社員」が17.6%



2 町民の生涯学習に関する実態

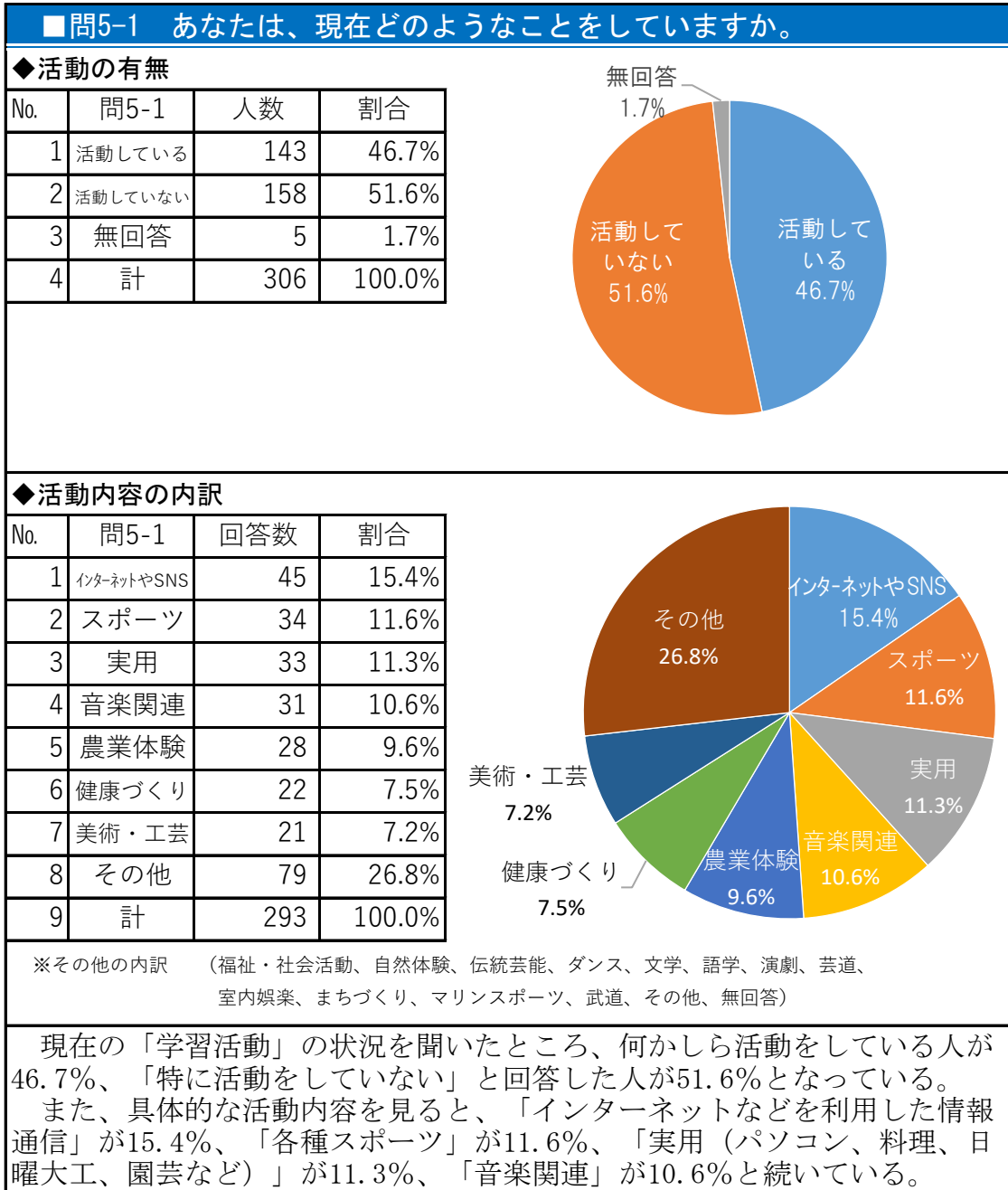
〔結果（概要）〕

- ◇学習活動をしている人の割合は46.7%で、約半数が何かしらの活動をしていることが分かる。
- ◇学習活動の内容は、「インターネットなどを利用した情報通信」が他の項目より多い傾向にあり、次いで、「各種スポーツ」「実用」「音楽関連」「農業体験」の割合が多かった。
- ◇学習活動の頻度は「ほとんど毎日」の割合が多く「ほとんど毎日」「週に2～3回」「週に1回」の合計が7割以上となっており、毎週何かしらの活動を行っている状態であると考えられる。
- ◇学習活動の目的は、「趣味や興味を広げ、生きがいをもつため」「自由時間を有効に活かすため」「健康・体力づくりのため」の割合が多く、世代ごとに見てもほぼ同じような傾向にあった。
- ◇学習活動を行いやすい時間帯は、「平日夜間」「平日の午後」「平日の午前中」の割合がほぼ横並びで、他の時間帯より抜きんでていた。週末は自分の学習活動に時間を割いていない（割けない）傾向が見られた。
- ◇新たに始めたい学習活動は、「職業上に必要な知識や技能に関するもの」「健康に関するもの」が一番多かった。若い世代では「職業上…」の回答が多く、年配の世代では「健康に関するもの」の割合が多かった。
- ◇力を入れるべき生涯学習の内容としては、全体では「まちづくりや地域活性化に関する活動」の割合が多く、次いで「地域の行事への参加や伝統文化の継承」「深浦町の自然体験活動」が多かった。
世代ごとで見ると、10～50代までは「まちづくりや地域活性化に関する活動」の割合が抜きんでて多く、60～70代では「地域の行事への参加や伝統文化の継承」が多かった。
今回の結果では、若い世代から年配の世代まで、さほど偏りがなかったところを見ると、どの世代も同じような課題を感じている結果となった。

「Ⅱ 調査結果 2. 町民の生涯学習に関する実態」

(1) 現在の具体的な「学習活動」

◇「活動している」46.7%、「活動していない」51.6%

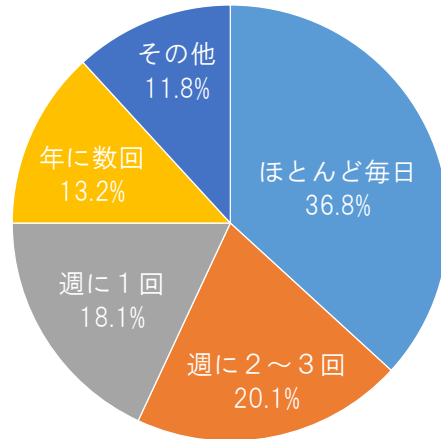


(2) 「学習活動」の頻度

◇「ほとんど毎日」が36.8%

■問5-2 その回数はどれくらいですか

No.	問5-2	人数	割合
1	ほとんど毎日	53	36.8%
2	週に2～3回	29	20.1%
3	週に1回	26	18.1%
4	年に数回	19	13.2%
5	その他	17	11.8%
6	計	144	100.0%



※その他の内訳 (月に2～3回くらい、月に1回くらい)

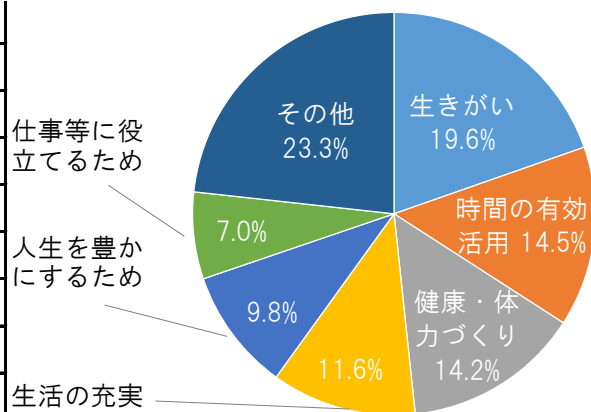
現在行っている学習活動の頻度を聞いたところ、「ほとんど毎日」が36.8%、次いで「週に2～3回くらい」が20.1%となっており、「週に1回程度」が18.1%、「年に数回程度」が13.2%と続いている。

(3) 「学習活動」の目的

◇「趣味や興味を広げ、生きがいをもつため」が19.6%

■問5-3 その活動を行う目的や動機は何ですか。

No.	問5-3	回答数	割合
1	生きがい	76	19.6%
2	時間の有効活用	56	14.5%
3	健康・体力づくり	55	14.2%
4	生活の充実	45	11.6%
5	人生を豊かに	38	9.8%
6	仕事に役立てる	27	7.0%
7	その他	90	23.3%
8	計	387	100.0%

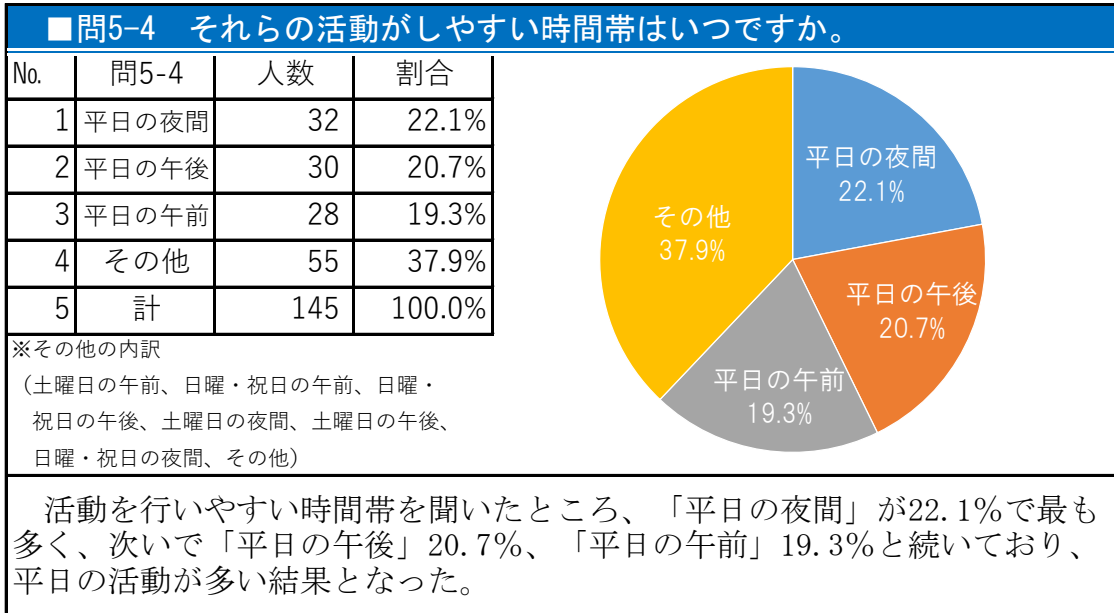


※その他の内訳 (親睦を深めるため、地域社会全体と関わるため、教養を高めるため、社会に役立つため、資格をとるため、なんとなく、学校での活動に役立てる、その他)

現在の「学習活動」の目的や動機を聞いたところ、「趣味や興味を広げ、生きがいをもつため」が19.6%、次いで「自由時間を有効に活かすため」が14.5%、「健康・体力づくりのため」が14.2%となっており、「家庭や日常生活を充実させるため」が11.6%と続いている。

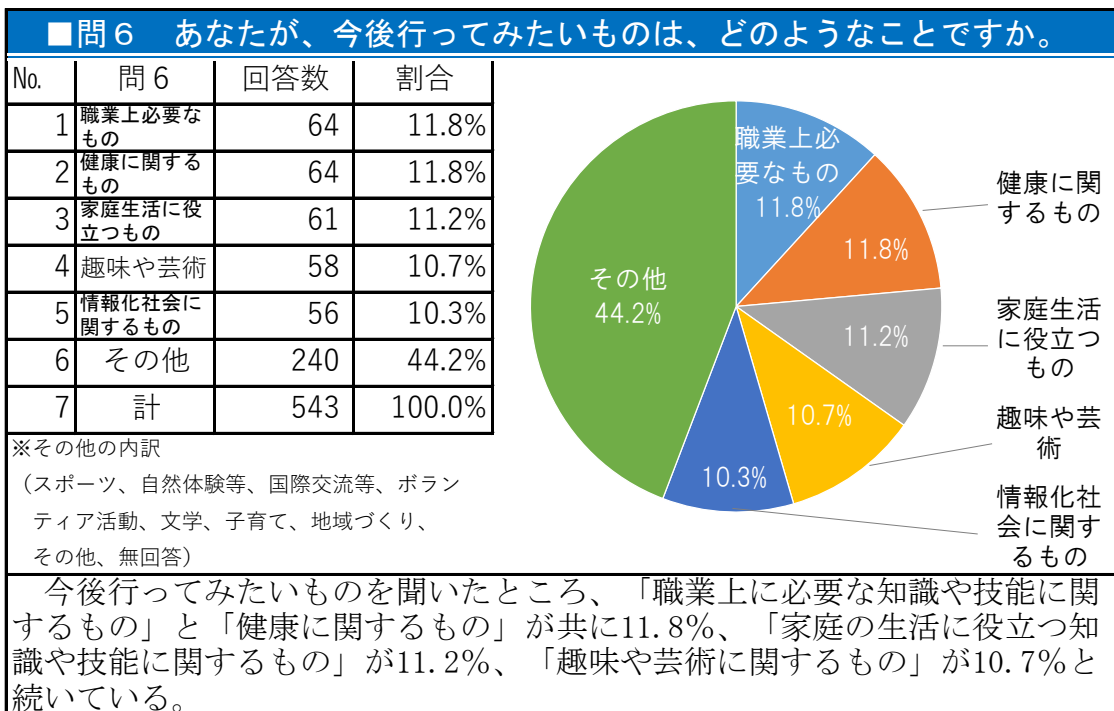
(4) 「学習活動」を行いやすい時間帯

◇「平日の夜間（午後6時以降）」が22.1%



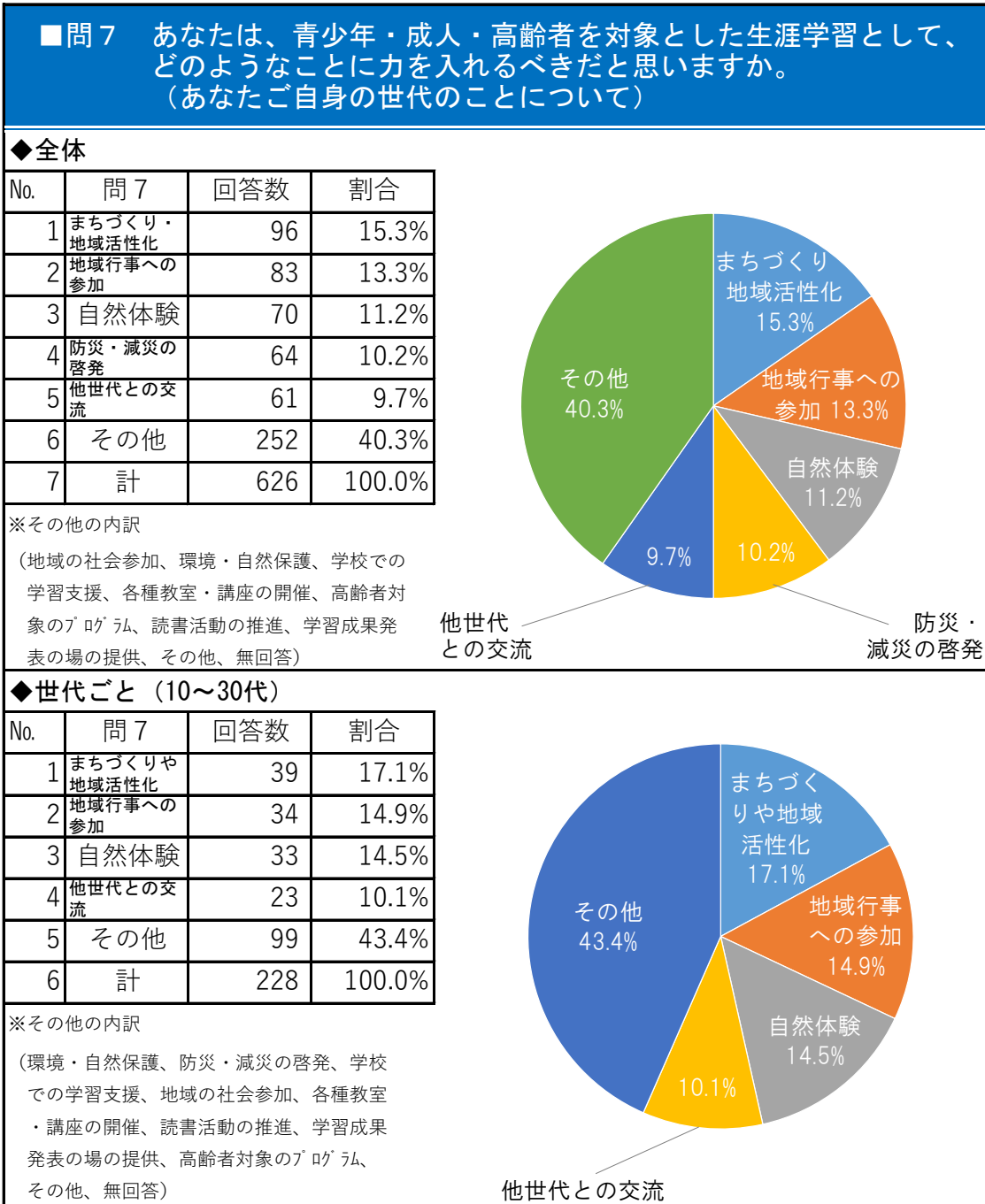
(5) 新たに始めたい具体的な「学習活動」

◇「職業上に必要な知識や技能に関するもの」、
 「健康に関するもの」が共に11.8%

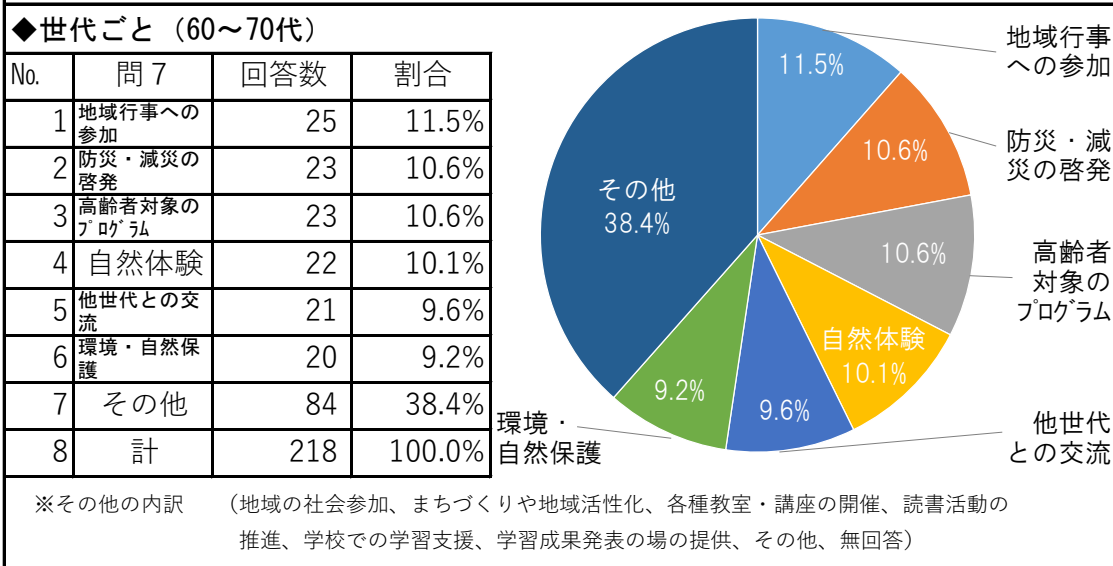
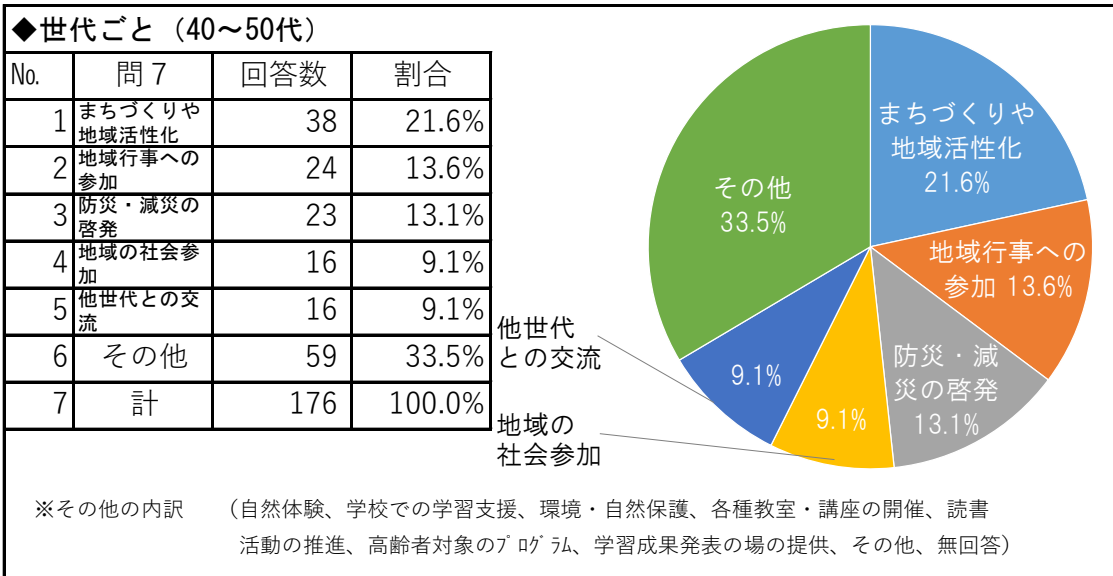


(6) 世代ごとの生涯学習への希望

◇「まちづくりや地域活性化に関する活動」が全体で15.3%



「Ⅱ 調査結果 2. 町民の生涯学習に関する実態」



生涯学習について、どのようなことに力を入れるべきかを世代ごとに聞いたところ、全体では「まちづくりや地域活性化に関する活動」が15.3%で最も多く、次いで「地域の行事への参加や伝統文化の継承」が13.3%、「深浦町の自然体験活動」が11.2%、「防災・減災を啓発する活動」が10.2%と続いている。

年代別にみると、10～30代では「まちづくりや地域活性化に関する活動」が17.1%と最も多く、40～50代でも「まちづくりや地域活性化に関する活動」が21.6%、60～70代では「地域の行事への参加や伝統文化の継承」が11.5%で最も多くなっている。

3 スポーツ活動の現状

〔結果（概要）〕

- ◇スポーツ活動をしている人の割合は「たまにしている」「まあまあしている」「非常にしている」を合わせると28.1%と3割弱となった。「ほぼしてない」「あまりしてない」が7割を超えたが、アンケート前1年間はコロナ禍という状況もあり、活動を控えた人も少なくないと考えられる。

- ◇現在行っているスポーツ活動の内容としては、「ジョギング・ウォーキング」が全ての年代の割合が多く、年代があがるに連れて多くなる傾向があった。若い世代では他に「野球」「卓球」「バドミントン」「室内フィットネス」といった回答があった。

- ◇今後何らかのスポーツ活動をしたいと考えてる人は54.2%と、半数を超えており、スポーツへの関心は高いと考えられる。

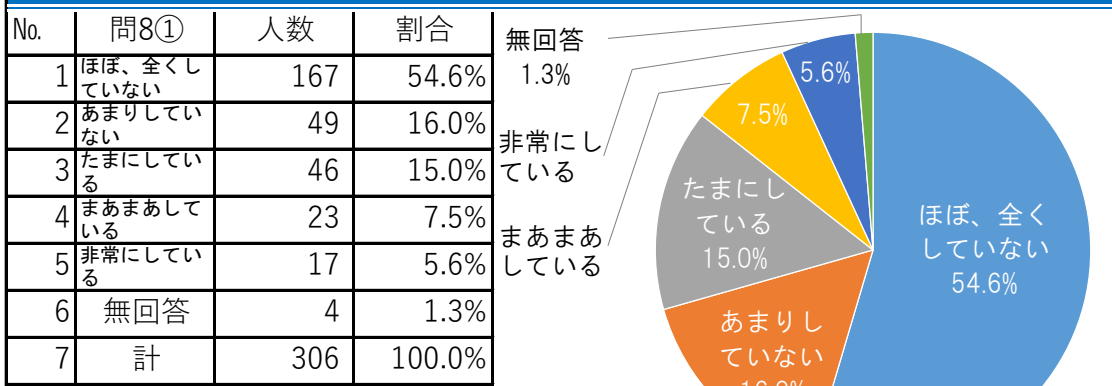
- ◇今後やってみたいスポーツ活動の内容は、こちらも「ジョギング・ウォーキング」の割合が非常に多く、次いで、「山や川で行うアウトドアスポーツが多かった。
若い世代では「ジョギング・ウォーキング」の他、「バレーボール」「バドミントン」「マリンスポーツ」「室内フィットネス・ダンス」「アウトドアスポーツ」など回答が幅広く見られたが、年配の世代では「ジョギング・ウォーキング」の他は「卓球」「ゲートボール」「アウトドアスポーツ」の3種目の回答が多く、若干偏りが見られた。

「Ⅱ 調査結果 3. スポーツ活動の現状」

(1) これまでのスポーツ活動の状況

◇「ほとんど、まったくしていない」が54.6%

■問8① あなたは、過去1年間に何らかの「スポーツ・軽スポーツ」をされましたか。

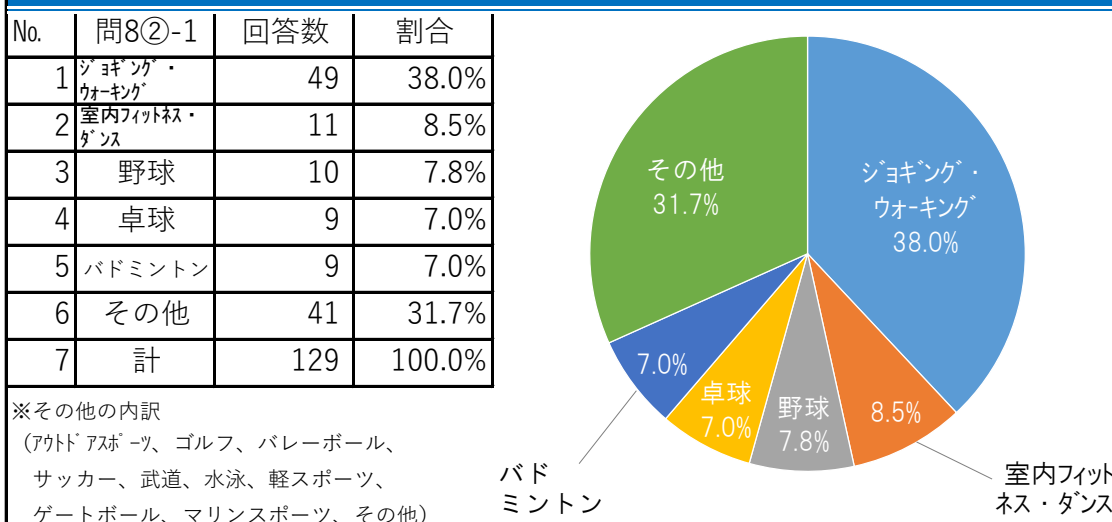


現在の「スポーツ活動」の状況を聞いたところ、「非常によくしている」から「たまにしている」までが28.1%、「あまりしていない」「ほとんどまったくしていない」を合わせると70.6%となっている。

(2) 現在の具体的なスポーツ活動

◇「ジョギング・ウォーキング」が38.0%

■問8②-1 現在している「スポーツ」について、下記の選択肢の中から選んでください。



具体的な「スポーツ活動」を回答した人の内訳を見たところ、「ジョギング・ウォーキング」が38.0%で最も多く、次いで「室内フィットネス・ダンス等」(8.5%)、「野球」(7.8%)と続いている。

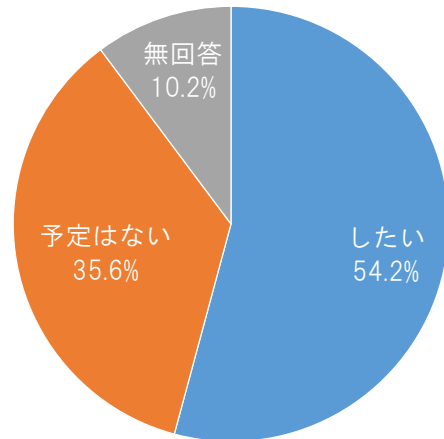
(3) 新たに始めたいスポーツ活動

◇何らかのスポーツ活動を「したい」が54.2%

■問8②-2 今後したいと思っている「スポーツ」について、選択肢の中から選んでください。

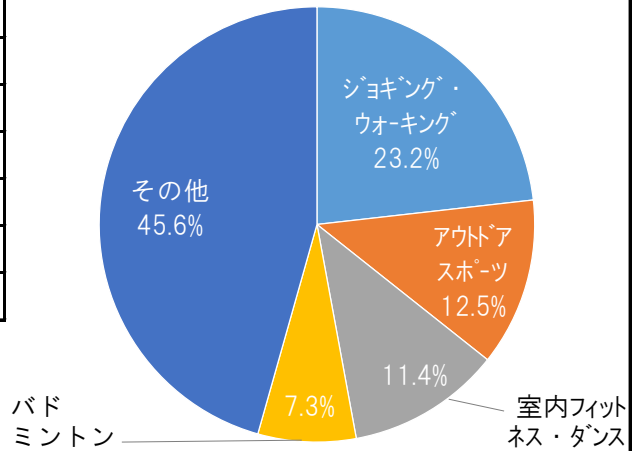
◆今後スポーツをしたいかの有無

No.	■問8②2	人数	割合
1	したい	166	54.2%
2	予定はない	109	35.6%
3	無回答	31	10.2%
4	合計	306	100.0%



◆やってみたいスポーツの内訳

No.	■問8②2	回答数	割合
1	ジョギング・ウォーキング	67	23.2%
2	アウトドアスポーツ	36	12.5%
3	室内フィットネス・ダンス	33	11.4%
4	バドミントン	21	7.3%
5	その他	132	45.6%
6	計	289	100.0%



※その他の内訳

(卓球、マリンスポーツ、ゴルフ、バレーボール、軽スポーツ、ゲートボール、サッカー、野球、水泳、武道、その他)

今後したいと思う「スポーツ活動」を聞いたところ、何らかのスポーツ活動を「したい」と答えた人が54.2%、「特にスポーツをする予定がない」と答えた人は35.6%となっている。

具体的なスポーツの内容を回答した人の内訳を見ると、「ジョギング・ウォーキング」が23.2%で最も多く、「山や川で行うアウトドアスポーツ」が12.5%、「室内フィットネス・ダンス等」が11.4%と続いた。

4 学習環境についての希望

〔結果（概要）〕

◇今後のスポーツ活動への希望

健康づくり・スポーツ活動を充実させるために力を入れるべきことについて、「公民館などでの各種教室・講座の開催」の割合が多く、「各種運動教室やスポーツ大会などの開催」「総合型スポーツクラブの活動支援」「社会体育施設の整備、改修」といった回答が多かった。

◇生涯学習活動への希望

生涯学習を盛んにしていくために行って欲しいことは、「すべての人が気軽に参加できるようなさまざまな講座や教室を増やす」の割合が一番多かった。次いで「町民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」「地域が活気づくような大きなイベントを開催する」が多く、さらに「社会体育施設の機能を充実させる（町民体育館・武道館など）」「社会教育施設の機能を充実させる（公民館、資料館・美術館、文学館、風待ち館など）」といった回答が続いている。

◇文化芸術活動への希望

文化・芸術活動を充実させるために必要なことは、「小中学校での総合的な学習の時間や、クラブ活動などでの指導や支援」「公民館などでの各種教室・講座の開催」この2つへの回答の割合が非常に多く、次いで「文化芸能団体への支援活動」「インターネット動画などによる活動の紹介」への回答の割合が多かった。
生涯学習活動、スポーツ活動、文化芸術活動共に「講座や教室の開催」と回答する割合が非常に多い結果となった。

◇文化財・伝統芸能への希望

文化財や伝統芸能の継承・保全について重要なことは「人口減少による後継者不足の解消や保存会活動の強化」が他の回答より抜きんでて多かった。次いで「文化財、伝統芸能の観光資源としての活用」「保存会などへの支援活動」の回答が多かった。
「人口減少による後継者不足の解消や保存会活動の強化」については全ての世代での回答が多くあり、回答者全体で6割の人が回答した。

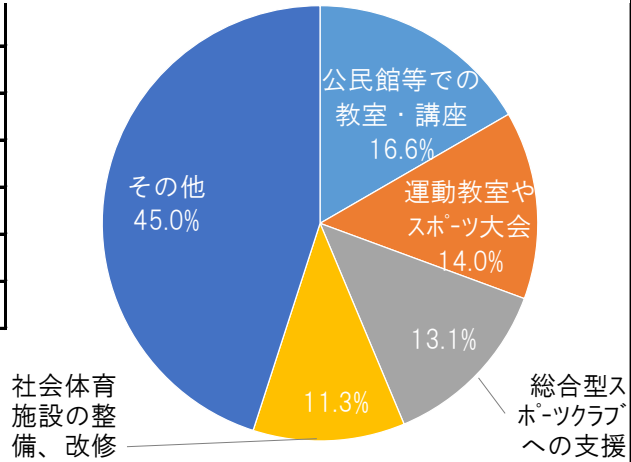
「Ⅱ 調査結果 4. 学習環境についての希望」

(1) スポーツ活動への希望

◇「公民館などでの各種教室・講座の開催」が16.6%

■問9 あなたは、健康づくり・スポーツを充実させるためにどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

No.	■問9	回答数	割合
1	公民館等での教室・講座	93	16.6%
2	運動教室やスポーツ大会	78	14.0%
3	総合型スポーツクラブへの支援	73	13.1%
4	社会体育施設の整備、改修	63	11.3%
5	その他	252	45.0%
6	計	559	100.0%



※その他の内訳（地域やスポーツ団体との連携、軽スポーツ等の普及啓発、学校開放事業の推進、指導者の発掘・育成、その他、無回答）

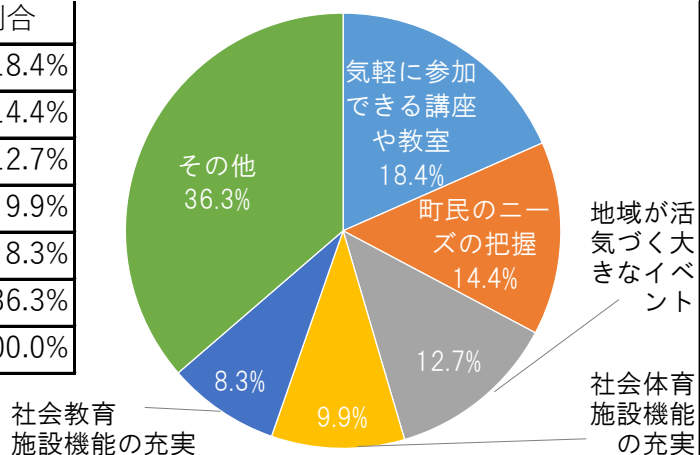
健康づくりやスポーツ活動を充実させるために必要な事を聞いたところ、「公民館などでの各種教室・講座の開催」が16.6%と最も多く、「各種運動教室やスポーツ大会などの開催」が14.0%、「総合型スポーツクラブの活動支援」が13.1%と続いている。

(2) 生涯学習活動への希望

◇「すべての人が気軽に参加できるようなさまざまな講座や教室を増やす」が18.4%

■問10 あなたは今後、町民の「生涯学習」をもっと盛んにしていくために、深浦町ではどのようなことを行うべきだと思いますか。

No.	■問10	人数	割合
1	気軽に参加できる講座や教室	119	18.4%
2	町民のニーズの把握	93	14.4%
3	地域が活気づく大きなイベント	82	12.7%
4	社会体育施設機能の充実	64	9.9%
5	社会教育施設機能の充実	54	8.3%
6	その他	235	36.3%
7	計	647	100.0%



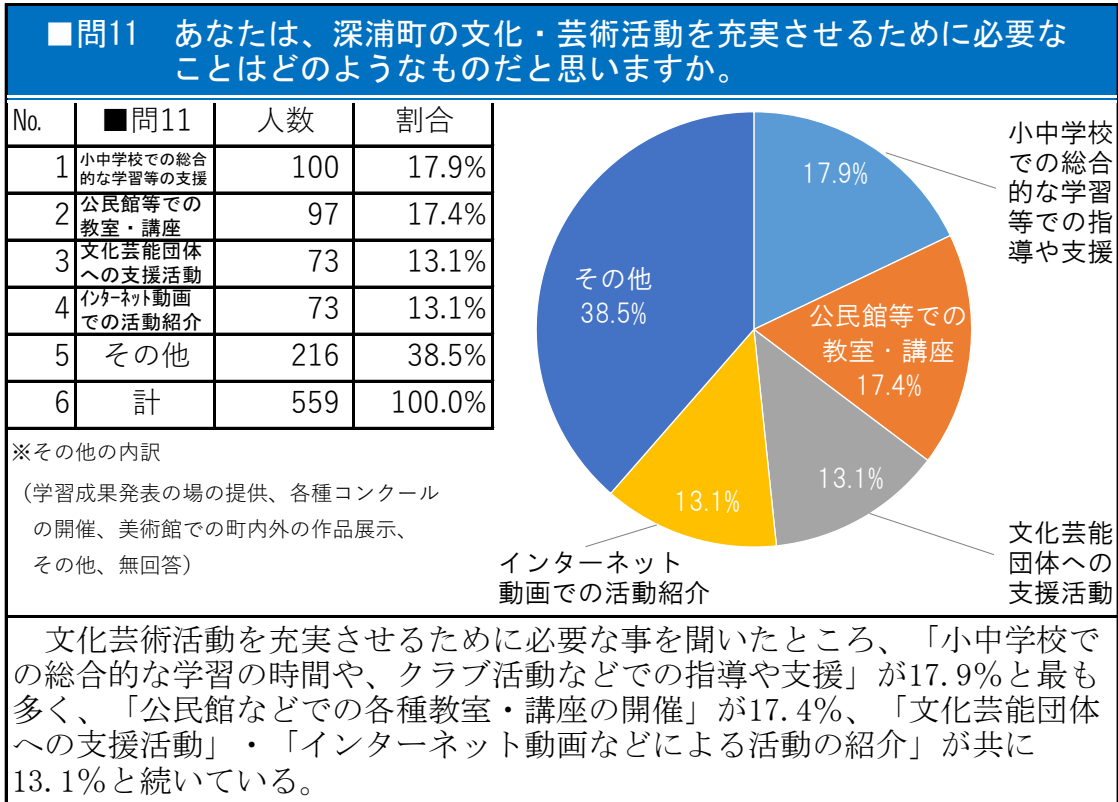
※その他の内訳（生涯学習を支援する人材育成、学校をもっと地域に開放する、対象をしぼった小規模のイベント、ボランティア活動の充実、生涯学習についての相談窓口、コミュニティスクールや地域学校協働活動の導入、その他、無回答）

生涯学習活動を充実させるために必要な事を聞いたところ、「すべての人が気軽に参加できるようなさまざまな講座や教室を増やす」が18.4%と最も多く、「町民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」が14.4%と続いている。

「Ⅱ 調査結果 4. 学習環境についての希望」

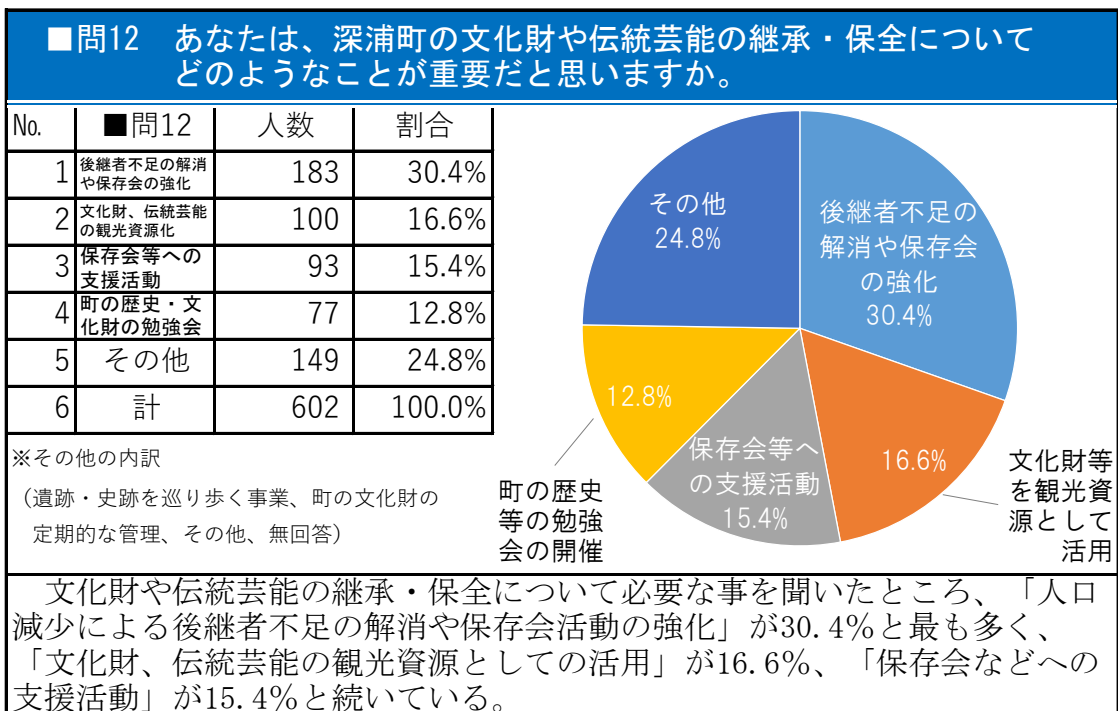
(3) 文化芸術活動への希望

◇「小中学校での総合的な学習の時間や、クラブ活動などでの指導や支援」が17.9%



(4) 文化財・伝統芸能への希望

◇「人口減少による後継者不足の解消や保存会活動の強化」が30.4%



5 公民館活動について

〔結果（概要）〕

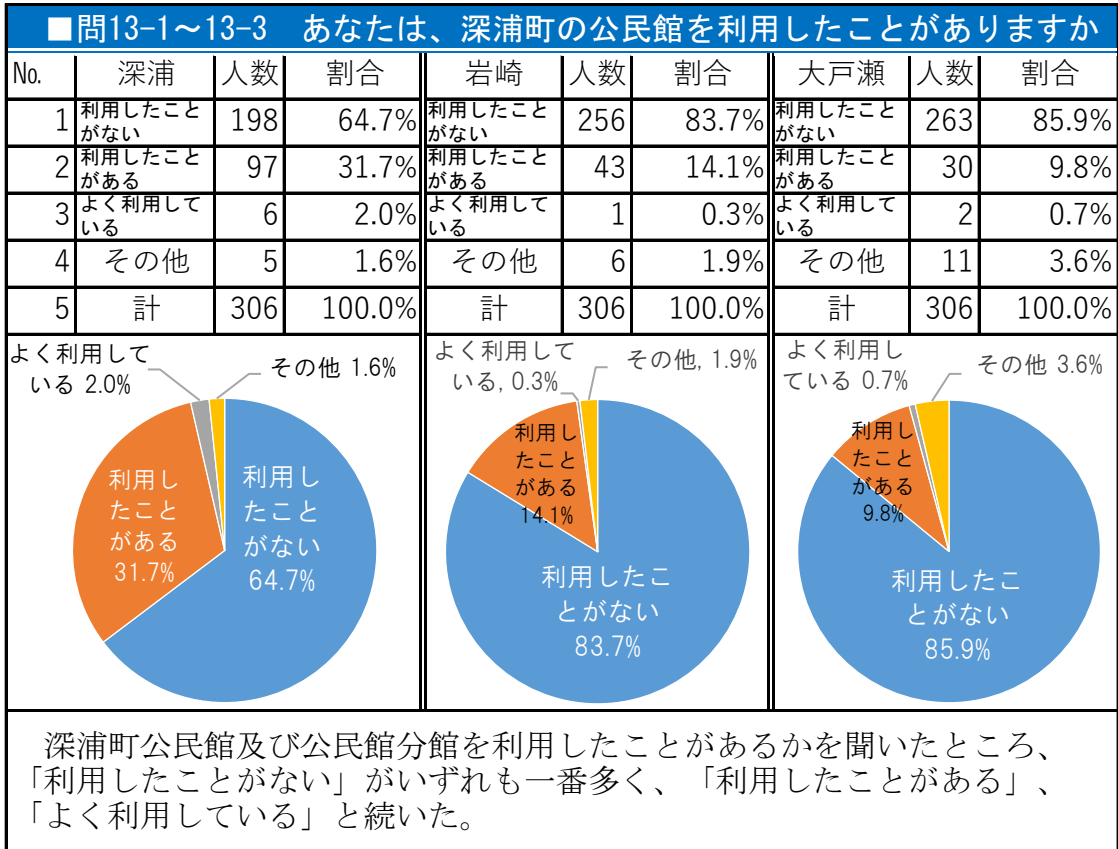
- ◇公民館の利用の有無について、深浦町公民館では「よく利用している」「利用したことがある」の割合が3割を超えているが、岩崎・大戸瀬分館では約1割～2割弱となった。
コロナウイルスの影響による各種教室・講座などの活動制限や、外部団体も利用出来なかったことなども要因としてあげられる。

- ◇公民館に望む事業内容として、「児童・生徒に対する教育支援（学習塾など）」の割合が非常に多かった。次いで「若年層を対象とした事業」「高齢者を対象とした事業（高齢者大学など）」という回答がほぼ同じ割合で多く、「現在行っているような各種教室・講座」が続いて多かった。
また、その他の自由意見として、若年層への支援や学習塾の開催といったコメントが多く見られた。

「Ⅱ 調査結果 5. 公民館活動について」

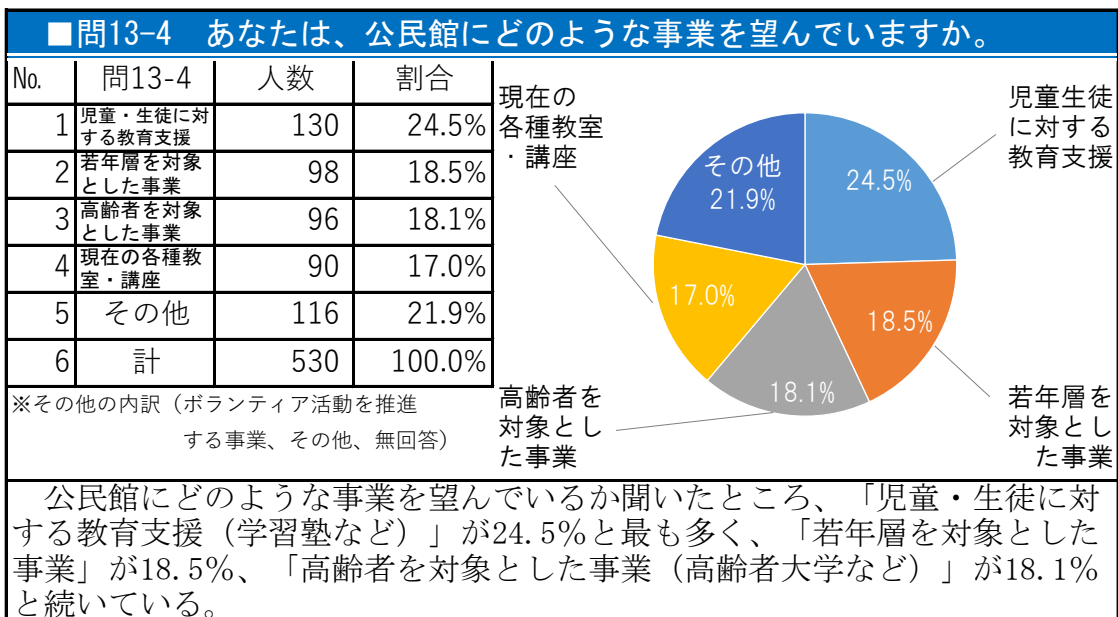
(1) 深浦町公民館の利用状況

◇「利用したことがない」が64.7%



(4) 町民の求める公民館活動

◇「児童・生徒に対する教育支援（学習塾など）」が24.5%



6 深浦町歴史民俗資料館・美術館について

〔結果（概要）〕

- ◇歴史民俗資料館・美術館の利用の有無について、「利用したことがある」が31.4%と3割を超えており、「学校の授業で行ったことがある。」などの意見が寄せられた。しかし「よく利用している」の回答は無く、定期的に利用している人は少ないことが分かる。

- ◇歴史民俗資料館に望む事業内容として、「町内外の資料の展示」の割合が多く、次いで「町の歴史や文化財に関する勉強会」「今の展示内容で良い」という回答がほぼ同じ割合で多かった。

- ◇美術館に望む事業内容として、「町外の美術館などと連携した事業」の割合が多かった。次いで「現在の常設・企画展を行っていけば良い」が多く、「現代美術を中心とした展示」「美術に関する教室や講座の開催」が同じ割合で続いている。

- ◇美術館自体を知らない人や、どのような展示を行っているかわからないなどの意見もあり、周知方法によって来館者が増える可能性も垣間見える。
また、「親子で参加できるものや見に行けるもの」「堅苦しくない作品の展示」「美術教室」などといった自由意見があった。

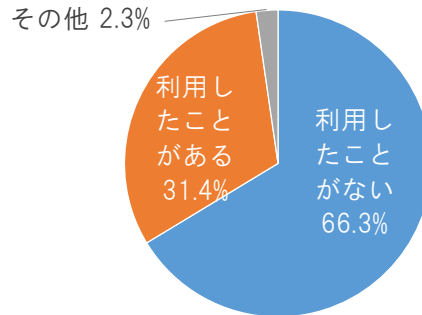
「Ⅱ 調査結果 6. 深浦町歴史民俗資料館・美術館について」

(1) 深浦町歴史民俗資料館・美術館の利用状況

◇「利用したことがない」が66.3%

■問14-1 深浦町歴史民俗資料館・美術館を利用したことがありますか。

No.	問14-1	人数	割合
1	利用したことがない	203	66.3%
2	利用したことがある	96	31.4%
3	その他	7	2.3%
4	計	306	100.0%



※その他（その他、無回答）

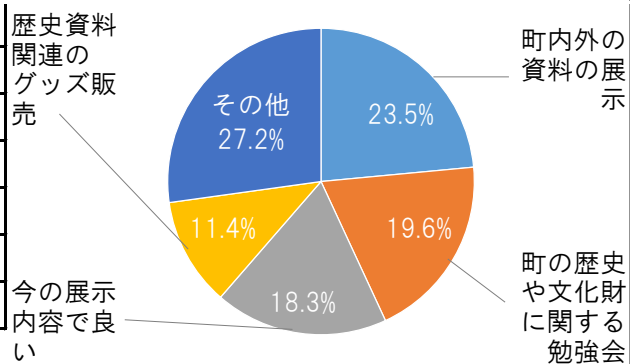
※よく利用しているは回答数0

(2) 町民の求める資料館事業

◇「町内外の資料の展示」が23.5%

■問14-2 歴史民俗資料館に今後どのような事業を行って欲しいですか。

No.	問14-2	人数	割合
1	町内外の資料の展示	72	23.5%
2	町の歴史や文化財に関する勉強会	60	19.6%
3	今の展示内容で良い	56	18.3%
4	歴史資料関連のグッズ販売	35	11.4%
5	その他	83	27.2%
6	計	306	100.0%



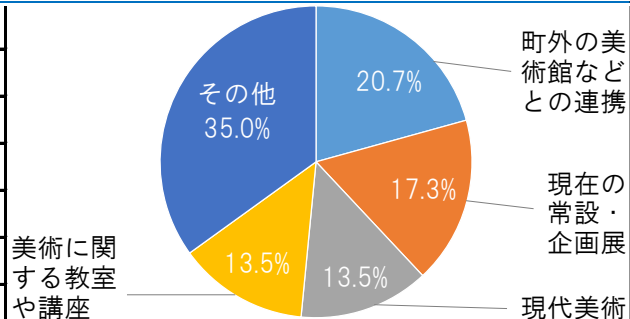
※その他の内訳（その他、無回答）

(3) 町民の求める美術館事業

◇「町外の美術館などと連携した事業」が20.7%

■問14-3 美術館に今後どのような展示や事業を行って欲しいですか。

No.	問14-3	人数	割合
1	町外の美術館などとの連携	98	20.7%
2	現在の常設・企画展	82	17.3%
3	現代美術	64	13.5%
4	美術に関する教室や講座	64	13.5%
5	その他	165	35.0%
6	計	473	100.0%



※その他の内訳（絵画や版画、仏像などの仏教美術、彫刻、その他、無回答）

深浦町歴史民俗資料館・美術館を利用したことがあるかを聞いたところ、「利用したことがない」が66.3%と最も多かった。

【歴史民俗資料館】に行っても欲しい事業を聞いたところ、「町内外の資料の展示」が23.5%と最も多く、【美術館】に行っても欲しい事業を聞いたところ、「町外の美術館などと連携した事業」が20.7%と最も多かった。

7 深浦町の図書館機能について

〔結果（概要）〕

- ◇よく利用する図書館（室）について「ふかうら文学館」の割合が多く、次いで「近隣市町の図書館など」続いて多かった。
図書館（室）を利用している人の割合を足すと、3割弱の利用となっていることが分かる。

- ◇文学館及び各分館の「児童図書」蔵書数について、文学館では「ちょうどいい」と「もっと増やして欲しい」の割合が同程度となった。
各分館については、「もっと増やして欲しい」という回答の割合が多く、次いで「ちょうどいい」という回答となった。

- ◇文学館及び各分館の「一般図書」蔵書数について、文学館・両分館とも「もっと増やして欲しい」の割合が一番多く、次いで、「ちょうどいい」、「もう十分だ」の順番となった。

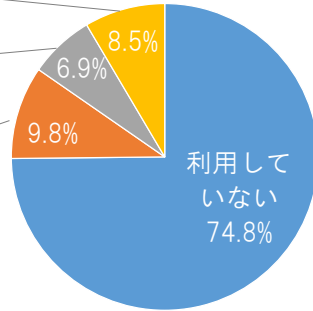
- ◇図書室の利用促進の方法については、「誰でもくつろげる空間を用意する」の割合が他の回答より非常に多かった。次いで「流行の図書を用意する」が多く、「読書スペースを増やす」「専門的な書籍を数多く用意する」という順番になった。
年代別でも特に大きな偏りは見られなかった。

(1) よく利用している図書施設

◇「利用していない」が74.8%

■問15-1 あなたは図書館（図書室なども含む）を利用する際、主にどの施設を利用していますか。

No.	問15-1	人数	割合	その他
1	利用していない	229	74.8%	
2	ふかうら文学館	30	9.8%	近隣市町の図書館
3	近隣市町の図書館	21	6.9%	ふかうら文学館
4	その他	26	8.5%	
5	計	306	100.0%	



※その他の内訳

(県立図書館、大戸瀬支所、岩崎支所、その他、無回答)

主に利用する図書館施設を聞いたところ、「利用していない」が74.8%となった。読書への関心がない人・読書を楽しむ時間がない人の他、読みたい本は買う、と言った意見もあった。利用している人の内訳を見ると「ふかうら文学館」、「近隣市町の図書館など」が20～30人程度で、「県立図書館」及び「各分館」は一桁台であった。

(2) 「児童図書」の蔵書数について

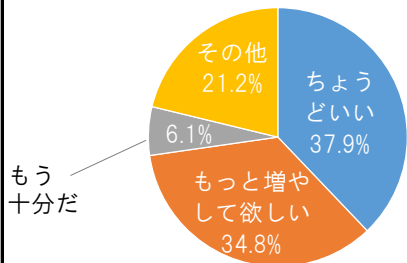
◇文学館「ちょうどいい」が37.9%

各分館「もっと増やして欲しい」が44.2%

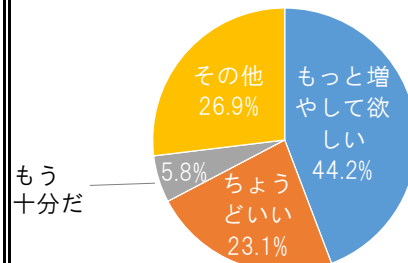
■問15-2、15-3 町の図書室の児童図書の蔵書についてどう思いますか。

No.	文学館	人数	割合	No.	各分館	人数	割合
1	ちょうどいい	25	37.9%	1	もっと増やして欲しい	23	44.2%
2	もっと増やして欲しい	23	34.8%	2	ちょうどいい	12	23.1%
3	もう十分だ	4	6.1%	3	もう十分だ	3	5.8%
4	その他	14	21.2%	4	その他	14	26.9%
5	計	66	100.0%	5	計	52	100.0%

※その他の内訳（その他、無回答）



※その他の内訳（その他、無回答）



ふかうら文学館の児童図書蔵書数について聞いたところ、「ちょうどいい」が37.9%と最も多く、岩崎支所・大戸瀬支所の児童図書蔵書数については、「もっと増やして欲しい」が44.2%ともっとも多かった。

(4) 「一般図書」の蔵書数について

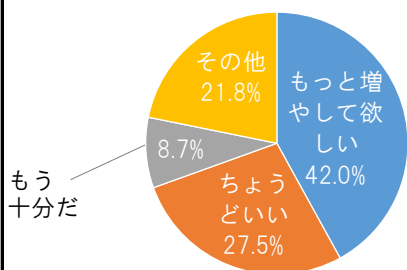
◇文学館「もっと増やして欲しい」が42.0%
各分館「もっと増やして欲しい」が38.0%

■問15-4、15-5 町の図書室の一般図書の蔵書について

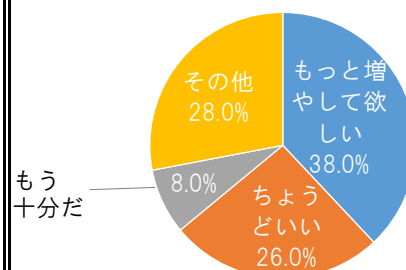
No.	文学館	人数	割合
1	もっと増やして欲しい	29	42.0%
2	ちょうどいい	19	27.5%
3	もう十分だ	6	8.7%
4	その他	15	21.8%
5	計	69	100.0%

No.	各分館	人数	割合
1	もっと増やして欲しい	19	38.0%
2	ちょうどいい	13	26.0%
3	もう十分だ	4	8.0%
4	その他	14	28.0%
5	計	50	100.0%

※その他の内訳（その他、無回答）☒



※その他の内訳（その他、無回答）☒



一般図書蔵書数について聞いたところ、文学館も各分館も「もっと増やして欲しい」が最も多く、続いて「ちょうどいい」との回答だった。「もう十分だ」は一桁台となっており、蔵書数に物足りなさを感じているような結果となった。

(6) 町民の求める図書室

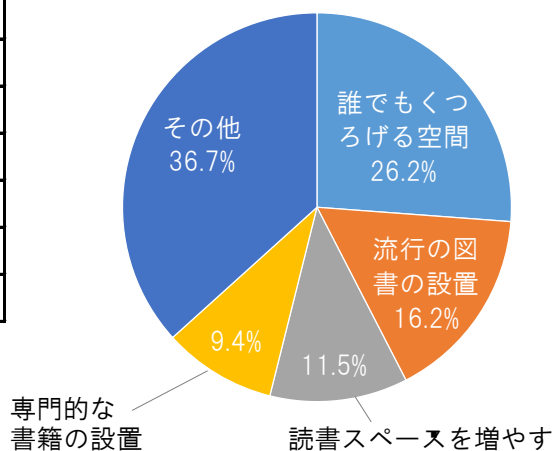
◇「誰でもくつろげる空間を用意する」が26.2%

■問15-6 どのような図書室であれば頻繁に利用しようと思えますか。

No.	問15-6	回答数	割合
1	誰でもくつろげる空間	153	26.2%
2	流行の図書の設置	95	16.2%
3	読書スペースを増やす	67	11.5%
4	専門的な書籍の設置	55	9.4%
5	その他	215	36.7%
6	計	585	100.0%

※その他の内訳

(雑誌や新聞を多数設置、電子書籍の導入、図書以外の催し物、図書の蔵書を増やす、その他、無回答)



どのような図書室であれば頻繁に利用すると思うか聞いたところ、「誰でもくつろげる空間を用意する」が26.2%と最も多く、「流行の図書を用意する」が16.2%、「読書スペースを増やす」が11.5%と続いた。

8 生涯学習についての自由意見

調査票最終ページの自由記載欄に記入された内容から「(1) 生涯学習全般」「(2) 生涯学習の施策や取り組み」「(3) 生涯学習の場所・施設」「(4) 図書機能」「(5) 広報・周知、情報発信」「(6) その他」の6つに分類し、複数項目に内容がまたがる意見については分割して該当項目にそれぞれ掲載している。また、記入内容については可能な限り原文をそのまま載せており、明らかに誤字脱字と思われる内容については修正を行っている。

(1) 生涯学習全般

No.	年齢	性別	地区	記入内容
1	30代	女	深浦	知り合いの80代の方が、小さい手帳を持ち歩き「日々勉強をしている」と仰っていてカッコいいと思った。毎日の生活で学べることもあるが、町で学習の機会を設けてくれればもっと充実できると感じる。参加できない仕事や子育てで忙しい人もいると思うが、若い人にももっと興味を持ってもらえるアイデアが必要だと思う。
2	30代	男	深浦	学習は自学が基本である。大人が学習しないと子供も学習しない。テレビやスマホを使ってばかりでは馬鹿しか育たない。勉強の基本となるものは、興味の持ったもの事に対して自ら調べ学び実践することである。
3	50代	女	大戸瀬	・時間的余裕がないので今は活動ができないが、将来時間が出来たら教室に通ったり、ボランティア活動等、自分の為、町のために楽しく生活できたらいいと思います。 ・子供たち（小中）にいろいろな体験をさせて深浦町をよく知ってもらい、深浦町で生まれ育った事を誇りに思い、たとえ県外に就職したとしてもいずれ帰って来て深浦町に住み、子供を育てられる環境であってほしいと思います。
4	50代	女	深浦	教育、学習は必要な事なので少しでも交流ができる様に心がけたいと思っています。
5	40代	男	深浦	時間的・金銭的余裕が無い

No.	年齢	性別	地区	記入内容
6	60代	女	深浦	改めて、社会教育、生涯学習と問われても、うまく答えられないが、私自身、身近な人生の先輩を拜見させて頂き、私の何年後はあの人のように！その後はあの人のように！と目標を立てるようにしている。この頃は、家族から本を買ってもらったりして、なるべく読書するようにしている。70才を目前に、読書から得る物は大きいと感じている。
7	40代	女	岩崎	アンケート、なかなか難しいことを聞きますね…。私は自分のペースが崩されるのが嫌なので、スクールとか出来ても行かないと思います。人に会うのは仕事の時だけで十分です。休みの日家にずっと居ても何ら、苦痛はありません。こういう人、多いかもしれませんよ意外と…。こういう人向けにも配信とかで社会教育・生涯学習が拡充出来たら素晴らしい事なんだろうけどね…。今はYouTube、TikTokなんかで事足りています。
8	50代	女	岩崎	・一生をとおして学ぶことは日々の中でたくさんありますが、何かを学びたいと思っていても生活に追われ、優先順位に順番をとられ、気持ちとは真逆の生活です。（時間に追われ、体力的に）私の場合、子供達が学業を終わり巣立ってからが、私の時間が来るのではないかと思っています。その時は色々なことに挑戦したいと思っています。そー思っている女性はたくさんいると思います。
9	40代	女	深浦	深浦町は高齢化がすすんでいるため、高齢者の方々が生きがいをもっていけるようにすることが大事かと思う。ただし、交通の便が悪く、通院が困難で、車の運転が厳しいと家に引きこもりがちになってしまうのかなと考えます。日々のスーパーでの買い物も大変。高齢者のみの世帯が多いため、生活がもう少し楽になる仕組みが築けたら良いなーと思います。

「Ⅱ 調査結果 8. 生涯学習についての自由意見」

(2) 生涯学習の施策や取り組み

No.	年齢	性別	地区	記入内容
1	70代	女	大戸瀬	毎日腰のまがらない体操その他を朝起きたら1時間くらいやっています。(20年ぐらいなります) 深浦ばかりじゃなく、岩崎・大戸瀬の発展と老人達の生きようとゆう、元気の事をしてほしいです。このままじゃ深浦だけがよくなって岩崎・大戸瀬がダメになります。なんとか、よい計画をたててください。お願い致します。
2	30代	女	大戸瀬	子どもと一緒に出席されるイベントがあると嬉しいです。よろしくお願いします。
3	その他	その他	岩崎	マグロ、サーモン、温泉、自然遺産、風待ち港であった歴史など、それぞれの専門家や従事者の話を聞いたり見学する機会があれば参加してみたい。
4	30代	女	深浦	親子で体験・学習できる事を増やしてほしい。
5	20代	女	深浦	コロナ禍でイベントが色々中止になったりして大変ですが、これからそれぞれ人々が集まれることを企画していくべきです。
6	20代	男	深浦	お年寄りの方が参加しやすい事業やイベントが多い気がします。この町にはまだまだ若くて元気がある若い人が実はかなりいます。ただ、自分の意見を口に出して人に伝えることが苦手な子たちが多いのも事実です。だからこそ、若い人だけの意見交換会をぜひ開催してほしいです。飲食しながらというのはまだまだ厳しいかもしれませんが、酒のいきおいで出た案がもしかしたら町が変わる案かもしれません。田舎だからこそ行動してチャレンジすることをやめてはいけないと思います。小さいことから1つずつ実施していくことが、いつか日の目を見ることが出来るのではないかなと思います。
7	70代	男	岩崎	もっと町民全体の学習の場をもうけてほしい。又県外への学習の場ももうけてほしい。
8	20代	男	岩崎	若い世代を中心としたイベントや行事を増やして行って下さい。
9	60代	男	深浦	冬のスポーツの事をもう少し考えてもいいように思う。スノートレッキング、スノーシュー体験、八森山スキー場も有るのにもったいない。それとマリンスポーツ、カヌー、シーカヤック、スタンドアップパドルボード、指導者がいれば子供達でも楽しめます。

No.	年齢	性別	地区	記入内容
10	60代	男	岩崎	父の死亡により帰って来てから1年位になりました。残された母は毎週火曜日に生きがい活動に参加しています。本人も大変よろこんで参加しているみたいで楽しみにしています。これからもこういうふれあう場所等（きかい）があれば助かります。町には大変感謝しております。
11	40代	女	大戸瀬	子供と一緒に参加できる、孫と一緒に参加できるなど年齢層を広くすると参加しやすいかも…と思います。
12	60代	女	深浦	シニア、特に60才～70才の人達が楽しめる、無理なくできる運動教室とノルディックウォーキング！ゆっくり歩いて参加した人達とおしゃべりしてまわりの草花を見て、1時間～2時間コースをお願い致します。個人的に以前から、スコップじゃみせんを覚えたいと思っています。できたら5～6人で祭り参加したいです。
13	30代	女	岩崎	習い事が出来ると良い（ピアノ、水泳、英語、学習塾も）大人も利用可能。
14	40代	女	大戸瀬	・何かに参加してみたいと思って広報誌などを見ますが、気がすすまざりすぎている。親子、世代間、など、たくさん交流できる場もあってもいい様に感じる。どこに、だれが住んでいるかわからなくなっている世代になっている。もっと、周りに関心を持てる子ども達に育ててほしいと願っている。 ・”深浦町”の昔の事、育んでいる地域の昔の話、そんな話も楽しいのでは…と思う。 ・考える方も大変かと思いますが、深浦町の発展を期待しています。”やりたいけど出来ない”と考えている若者がねむっているかと思っています。まとまらない文章ですみません。
15	30代	女	深浦	各種教室・講座を様々な曜日・時間で開催してもらえると参加しやすくなるんじゃないかと思っています。
16	50代	女	岩崎	・家庭菜園で上手に手軽に野菜を作ることなど、あたり前のようなことでも講座に入れてみては…意外と知らないことが多いです。 ・ボランティア活動をした時、証明書をはっこうしてもらえたらいいかと、特に中・高生。他県に通学の場合、他県のボランティアに関しては学校が認めています、県が違うと参加しても分からず、進学・就職にもプラスになるので。 ・お役に立つような解答が出来ず申し訳ありません。

No.	年齢	性別	地区	記入内容
17	40代	女	岩崎	・仕事と子育てで毎日時間がなく、ふと「手作りうどん打ち」行ってみたいなと思いましたが、仕事をしている私にはあの時間は厳しいので残念でした。・子育て世代、若者世代が気軽に集まって楽しめる場を作ってほしいです。
18	30代	男	大戸瀬	子供が少ないのに、子供に行わせる事が昔より少ない。高齢者と子供のふれあいを増やし幅広い世代が協力していく町づくりを行っていったらいい。

「Ⅱ 調査結果 8. 生涯学習についての自由意見」

(3) 生涯学習の場所・施設

No.	年齢	性別	地区	記入内容
1	20代	女	岩崎	閉校をよぎなくされた岩崎中学校を、町民が使えるようにはできないのでしょうか。古いので、維持しようがないのかもしれませんが…。若い世代もいるので、若者が気軽にスポーツを楽しめる施設を岩崎地区にも欲しい。わざわざ深浦に行くのは正直めんどくさいし、“深浦の人”しかいなくてなじめない。やりにくい。→自分の問題ですが(笑) 何においても「指導者」の確保が最優先である。岩崎のモノも全て深浦で引き上げたのなら責任を持ってちゃんとすべき。十二湖でも何でも、口だけじゃなく責任を持って自然を大切にしてください。仕事も祭りも深浦主催なら町民の意見を聞くべき。あまり期待はしていませんが(笑)
2	70代	女	大戸瀬	運転が出来ないのですぐ出かけられない。健康上の理由で外出不可能の場合が多い。利用したい気持ちは十分ある。身近な場所であればと思う。
3	30代	女	大戸瀬	町民がいつでも自由に使用できる空間(室内、室外)があると嬉しい。
4	20代	男	大戸瀬	運動する場所や設備が整っていれば活用する子ども達が増えると思う。もちろん子どもだけではなく大人も含めて皆で楽しめると思う。人口が少ないからこそ、そこをメリットとした考え方で何か活動やイベントがあると楽しいと思う。(それを行うための設備や時間、運営は非常に大変だと思うので、負担なく運営側の人たちも出来るような形で)
5	50代	女	大戸瀬	深浦町のどこにどのような施設があるか、よくわかりません。そのことにびっくりしました。
6	60代	男	深浦	図書は支所にもあるようだが、本町にある資料館・公民館等利用する機会もない。利用する予定もない。公民館は老朽化もあり、まとめれる施設はまとめ、光熱費・人件費を少なくした方がいいと思う。
7	10代	女	深浦	今現在、深浦にはいないのでたまに帰ったときに変わっているところがあったら行ってみたいです。文学館は小さい頃から行って、内装だったりこだわって少しずつ今のニーズに合わせてると感じたけど、美術館とかは今から変えるのも難しいと思うのでそのままでもいいと思います。

「Ⅱ 調査結果 8. 生涯学習についての自由意見」

(4) 図書機能

No.	年齢	性別	地区	記入内容
1	30代	男	深浦	僕が県外の図書館を利用した時は一般の本屋にも置いてある月刊誌もあって行くのが楽しみだった。新聞が充実していた。日経、産経、読売、朝日とたくさんあった。深浦町が高齢者への支援に力を入れているのはわかるが、若い人が楽しめる所をもっとふやしてほしい。
2	20代	男	岩崎	新しく図書館を立て直し、勉強ができたり、気軽に若い人がいける場所にすれば良いと思う。
3	40代	女	岩崎	・子供達が気軽に図書館を利用できるようにしてくれたら助かります（土、日とか） すいません、バタバタして内容がおかしかったらすいません。

(5) 広報・周知、情報発信

No.	年齢	性別	地区	記入内容
1	40代	男	深浦	SNSを存分に活用することは、その人の人生を豊かにし、価値を高める事でもあります。さらに一個人を超えて、ふるさとを活性化し、地域全体を高めることにもつながります。町民全体がITリテシーを高め、ふるさと深浦を発信することは、地域を守り、そして子供たちにも素晴らしい影響を与えることになります。その点をご考慮頂きたく存じます。
2	30代	男	大戸瀬	きっかけや情報が入ると1回参加してみても、続けていくと思う。まず情報発信がなさすぎる。

「Ⅱ 調査結果 8. 生涯学習についての自由意見」

(6) その他

No.	年齢	性別	地区	記入内容
1	50代	男	深浦	町の活性化
2	30代	女	深浦	深浦公民館については、今、中沢のさくら館を利用しているレッツ児童クラブを公民館に移動できないかと思います。そこで放課後を利用して、週に1日でも英語教室や習字教室など開催したらどうか。また、学校には直接言いにくいのでこの場を借りて、小学校の先生の中には口が悪い先生がいるようです。まだ低学年の子供に対して「うるせー」などと、高圧的な態度で接する先生もいるようです。きちんと指導よろしくお願ひします。
3	40代	男	深浦	フィットネスプラザゆとりでは多くの高齢者が楽しそうに利用しているのをよく見ます。生涯学習という点では、高齢者の多くはたくさんの知識、経験があるので、若い世代との交流の場として利用できるのではないかと思います。そのためにもゆとりの重要性を認識し、存続するための努力を町に求めます。
4	50代	男	深浦	高齢化が進み、若い人の町離れが止まらないような気がします。地元での就職ができるよう町で考え、若い人達がいれば文化活動やスポーツなど、町が活性化していくと思います。
5	60代	男	岩崎	1.歴史民俗資料館・美術館をやるのはいいと思います。ですが、職員の配置は税金のむだ遣いだと思います。むしろ、職員の定年した人を使うより、一般の職のない人を使うべきだと思います。公務員あがりの人は一般の人より、年金を高くもらえるのですから。 2.職員の再雇用はやめてください。ましてや、夫婦で職員であって、定年後も再雇用に入るのはおかしくないですか。一般町民は？に思っていますよ。 3.一般町民にもっと雇用の場をあたえられるような社会教育や学習を教えてほしいと願っております。将来の深浦町を願う、一町民としての希望です。よろしくお願ひします。町長によろしく。
6	70代	男	大戸瀬	利用者の足を確保できれば利用者増につながると思います。

No.	年齢	性別	地区	記入内容
7	60代	男	大戸瀬	それぞれ必要なことだと思います。でも高齢者が多く、活動したくてもなかなか難しい。その辺を考えてほしい。参加協力したくても家からそこまで行くのがなかなかで、車のない人はとても大変。もっともっと皆の近い所でもっともっと皆の近い感覚でお願いしたい。朝5時の有線放送音楽を止めてほしい。必要なら6時にしてほしい。5時は早すぎる。
8	70代	男	大戸瀬	深浦町の社会教育は深浦町民だけでは無理でしょう。伝統芸能の継承など人口減少によってほとんど無いに等しいし…。観光資源もイベントも少ないし、他県の人達が深浦町に興味を持ち、まず足を運んで来てくれていろんな物に接して食して、ああ、いいなあーと活気づいてから。深浦町のイベントに興味があり人々に関心を持ち歴史にふれたいとか…。
9	10代	男	深浦	もっと感性を広げる勉強をすべきだと思う。より、子供が興味を持てる勉強をしていくべき。
10	30代	男	大戸瀬	良い町づくりを…。
11	30代	女	深浦	深浦町の歴史、文化、伝統芸能などを絶やさずに後世まで残していけるように、子供達には日々の中でそうゆうものに触れられる環境作りをしてほしい。また、大人も同じように参加して町全体を盛り立てていけたらと思う。昔のようにおまつり、ねぶたもなくなったが、例えば毎年じゃなくても開催すべきかと思う。深浦の人は、岩崎や大戸瀬地区の伝統文化の事、行事のことをあまり知らないし、3つの地区のイベントを合同で開催して、同じ深浦町内の伝統的おまつりのようなものをやれたら良いと思う。
12	60代	男	深浦	趣味が仕事で、パーツ造りしたいのでよろしく。
13	30代	男	岩崎	皆自由に生活を送れるような町を作り、知名度を上げて日本きってのテクノロジー全国を目指そう！
14	30代	男	大戸瀬	若い人が町外に出て暮らしている事が多いので楽しんで取り組める何かがあれば良いと思います。
15	60代	男	深浦	いま現在の深浦町、人口が減少しさびしいふかうらになっています。若いころの深浦に一歩でも近づきたい。むかしは観光客が多く良かった。観光客で深浦駅から岡崎方面まで大名行列なっていたよ。人口が減少すると、すべての物に大きく影響する。みんなでかんがえよう。

No.	年齢	性別	地区	記入内容
16	30代	女	大戸瀬	特にないです。申し訳ありません。
17	20代	女	深浦	深浦町自体に特に望むことはない。
18	40代	女	深浦	青年や子どもたちが深浦町にいたい、町が好きだと思える町づくりも大切かなと思います。インターネットが普及して、家でのごらくは昔に比べて充実していると思いますが、若い世代にとっては、正直つまらないなと思うこともあるのかと。あと、市街地との学習レベルの差（むかしの感じ20～30年前）がけっこうある。今はちがったらすいません。学ぶ機会、学習を伸ばす機会があれば良いと思う。